

【株式会社ローソン】食品ロス削減・リサイクルに向けた取組

<商慣習の見直し（納品期限の緩和）>

- 飲料・菓子ほか、カップ・袋麺やレトルト食品など幅広い品目で納品期限を緩和済み。

<AIを活用した値引き販売推奨の実験開始>

- AIを使って最適な値引き額を算出し、売り切りを促進する実験を継続中。
勘と経験に頼ってきたこれまでの「値引き」ではなく、食品ロスを削減しながらも利益の最大化にチャレンジ。

<納品期限を迎えた商品をフードバンクへ寄贈>

- 物流センターの余剰商品や、クリスマスケーキ等の予約商品の在庫を、積極的にフードバンク等へ寄贈中。

AIを活用した値引き販売

- これまで勘と経験に頼ってきた値引き時間や値引き額を、AIを活用してより簡易で効果的に実施。
- 消費期限の短い商品を対象に、昼と夕方に1回ずつ、夜は2回、AIが「値引き推奨」のアラートを出す。
- 直近の実験では、対象商品群の廃棄額を約4%減らし、粗利を約1%増やす目標をおおむね達成。



どの商品を何円値引きするか、AIがパソコン上に表示
店員が確認してボタンを押すだけで、値引きシールが印刷

食品ロスをフードバンクへ寄贈

- 店舗への納品期限の切れたお菓子や加工食品などをフードバンクやこども宅食へ定期的に寄贈。
- クリスマスケーキやおせちの寄贈にもチャレンジ中。
- 全国各地の支援が必要な家庭や、子ども食堂・児童養護施設・障がい者福祉施設などへ提供されています。



【お問い合わせ先】 SDGs推進室 (03-5435-1350)